

カウンセラー便り



2017年2月

早いもので、新しい年が始まってもう一か月が過ぎてしまいました。三年生の皆さんは、いよいよこの熊野高校を旅立つ日が間近に迫っています。高校生活は、決して楽しいことばかりではなかったかもしれませんが、どのような経験もきっと無駄ではなく、いつか懐かしく振り返ることができた時、また違った感情が皆さんの中に生まれるかもしれません。時間というのは、時に何より心を癒すことができるものであり、また、時にとっても残酷な結果をもたらすものであると感じることがあります。

さて、このお便りではお勧めの映画や本などをご紹介させていただいているのですが、今回は、私が昨年唯一映画館まで足を運んで観た映画をご紹介させていただけたらと思います。この作品は、まさに時間を巡る物語です。皆さんは、「もしあの時間に戻れたら」と考えたことはありませんか？自分ならどの時代に戻りたいですか？そういったことに考えを巡らせながら、この映画に興味を持っていただければ幸いです。

今回のお勧めは

アリス・イン・ワンダーランド (2016)

キャスト ジョニー・デップ／アン・ハサウェイ／ミア・ワシコウスカ

この映画は、「不思議の国のアリス」のその後を映画化した「アリス・イン・ワンダーランド」の続編になります。今作で描かれるのは、前作から三年後の世界。亡き父の後を継ぎ、船長として大海原で活躍していた主人公アリスは、厳しい現実と直面し、再びワンダーランドへと誘われます。そして、そこで、悲しい過去に心を奪われ、帰らぬ家族を待ち続ける親友マッドハッターと再会します。白の女王らは、過去を変えてマッドハッターの家族を蘇らせてほしいとアリスに嘆願します。最初は困惑したアリスですが、憔悴するマッドハッターを見てその役割を引き受ける決断をします。

時間をさかのぼるため、時間の番人タイムが持つ、時間を操れる“クロノスフィア”を盗んだアリスは、タイムの追跡を逃れながら、ワンダーランドの時間をさかのぼっていきます。そして、その過程で、かつて暴君としてふるまい、国を追い出された赤の女王（白の女王の姉）の幼年期の秘密を知ることになるのです。

過去を変えようとするアリスに対し、タイムは「過去は変えられないが、過去から学ぶことはできる」と説きますが、その意味を私たちはやがて知ることになるのです。確かに、日常生活の中でも、「あの時ああしていたら」と思うことは沢山あります。でもその考えにはきりがなくて、そう考えれば考えるほど、私たちは過去にとらわれてしまい、今を生きることが出来なくなってしまうのかもしれません。

私が一番興味深かったのは、前作では自分勝手な暴君にしか見えなかった赤の女王にも、実はそう振舞わずにはいられなかった、彼女なりの理由があったということです。

私は普段、色々な人の話を聴く仕事をしてしていますが、周りから見ると理解できないような行動にも、そこに至るまでの本人なりの物語があると感じる事が多いです。この映画を通じて、皆さんなりの「自分物語」を思い浮かべてもらえたらと思います。



こんな時は相談室に来てみませんか？

相談室では、どんなことを話してもかまいません。先生や親も聞いてくれるけど、ちょっと話しにくいなという内容の時には、ぜひ相談室に話しに来て下さい。もちろん、話した内容が誰かにもれることはありません。

相談室の利用のしかた

担任の先生か保健室に声をかけて、予約をとって下さい。

来校予定日

2月1・8・15・22日

保護者のみなさまへ

相談室では、保護者のみなさまからのご相談もお受けしております。お子様のことで気になることや、心配に思うことがございましたら、お気軽にご相談下さい。また、お申込みにつきましては、担任の先生に直接ご連絡を頂きますようお願い申し上げます。